ほどよく、田舎。とうみ

東御市

第81号
2024. 5. 1

議会だより

2〜3 …… 令和6年度一般会計予算概要
4〜6 …… 令和6年度一般会計予算詳細
7 …… 令和5年度補正予算
8〜9 …… 提出案件の審議結果
10 …… 条例、総務活動費報告
11 …… 予算決算委員長報告、現地調査報告
12 …… 学校給食について
13 …… 子ども一時預かりについて
14〜19 … 市政を問う（11人の議員が質問）
20 …… きらり★キラリ「田中隆さん」

新年度予算決まる

TOPICS

子ども一時あずかりのインタビューが P13 にあります。

表紙の写真：「利用が期待される公共交通」

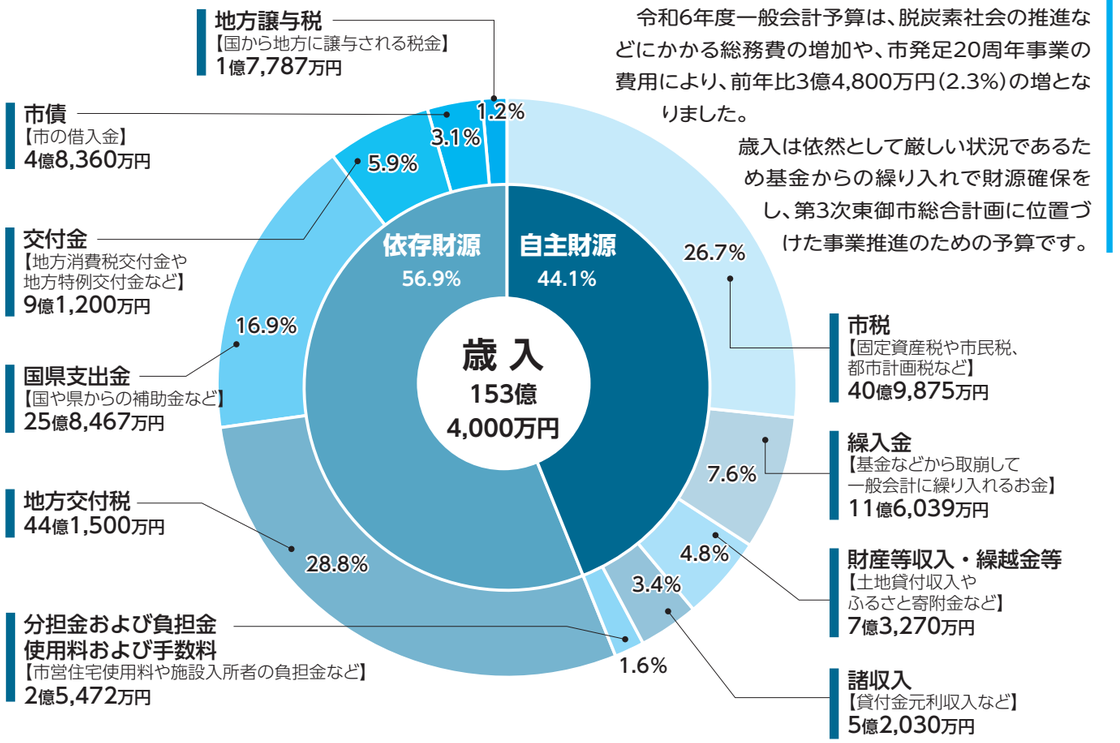
令和6年度

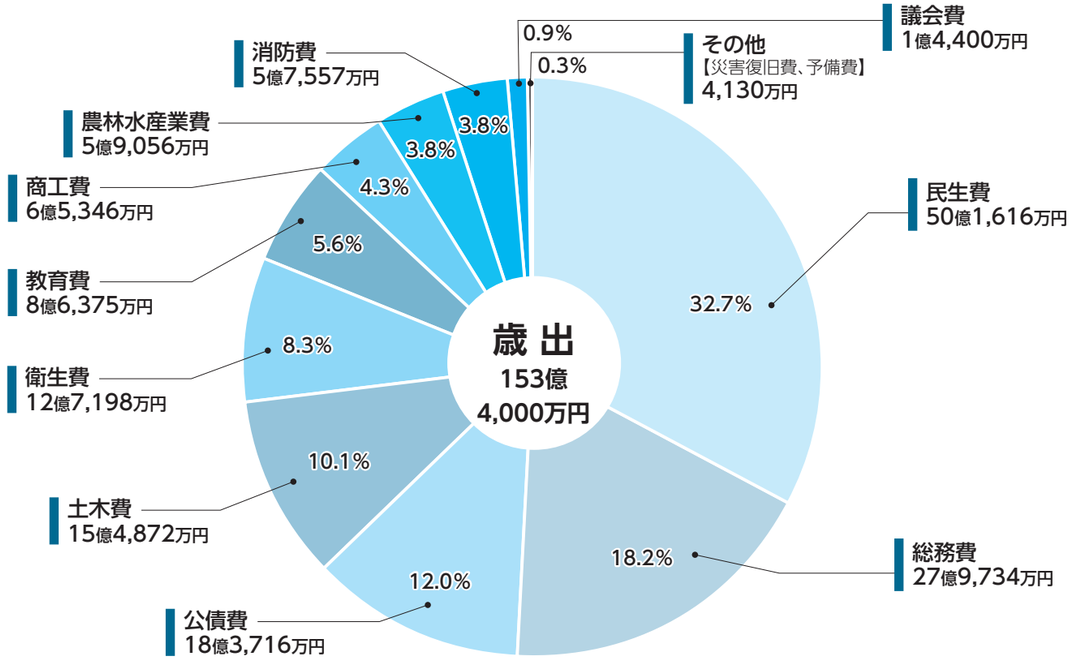
一般会計予算決まる

前年度比 3億4,800万円（2.3％）増額

令和6年度一般会計予算は、脱炭素社会の推進などにかかる総務費の増加や、市発足20周年事業の費用により、前年比3億4,800万円(2.3%)の増となりました。

歳入は依然として厳しい状況であるため基金からの繰り入れで財源確保をし、第3次東御市総合計画に位置づけた事業推進のための予算です。





※金額と構成比は、万円未満を四捨五入しているため合計と一致しない場合があります。

円グラフの見方 Q&A

Q. 歳入の自主財源とは?

A. 市が自ら判断して収入を得られる資金

市民税40億9,875万円(人口が多い自治体はここが豊かになる)
繰入金11億6,039万円(各基金から取崩しして一般財源に入れるお金)
財源収入、繰越金等7億3,270万円(土地貸付収入やふるさと納税寄付金など)
諸収入5億2,030万円(貸付金元利収入など)
分担金,負担金,使用料,手数料2億5,472万円(保育料、施設入居者負担金、市営住宅使用料など)

一般会計の歳出

主な歳出は、民生費の滋野児童館建設事業費3億3,037万円や、子ども第三の居場所の運営にかかる児童育成支援拠点事業費2,021万円を計上したことにより2,519万円の増、総務費で太陽光発電設備設置補助などにかかる地球温暖化対策推進費1億2,858万円等を計上したことにより、3億3,495万円の増となった。

子ども第三の居場所

第3次東御市総合計画

この計画を元に予算が編成されています。

【将来像】 人と自然にやさしい豊かな暮らしを 実感できるまち とうみ

令和5年度末で第2次総合計画が10年間の節目を迎えます。社会の変化に伴い、人口減少・少子化・高齢化が益々加速する現状に歯止めをかけるため、行政と市民がまちづくりに関する現状や課題を共有し、共に知恵を出し合い、共に問題解決を図ることが求められています。

市では、目まぐるしく変化する予測困難な時代に対し、持続可能なまちづくりを推進していくために、第3次東御市総合計画を策定しました。

先に示した将来像の実現に向けて施策の方向性をしめすため、6つの基本目標を設定しています。

また、令和2年に策定した人口ビジョンを踏まえて令和15年における人口の将来展望として28,200人以上を目安に将来像の実現に向けた施策を総合的に展開するとしています。

まちづくり審議会の意見にあるように、住みよさに評価されている現状を活かし、愛着と誇りをもてるまちづくりの実現にどう取り組んでいくか、議会として注視していきます。

基本目標

Ⅰ 自然と多様な人々が共生するまち
Ⅱ 共に支えあい、健やかに暮らせるまち
Ⅲ 誰もが学び、自分らしく輝けるまち
Ⅳ 魅力と活力があふれる産業のあるまち
Ⅴ 便利で安心して暮らせるまち
Ⅵ 持続可能な選ばれるまち

令和6年度 一般会計予算

くらし・環境

地球温暖化対策事業費
1億2858万円
環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を受けて各種事業が推進されます。
一般住宅、民間施設、公共施設などに太陽光発電設備を設置する際に補助金が出ます。発電した電気を蓄える、定置型蓄電池の設置に対しても補助金が出ます。
官民連携の地域電力会社として「株式会社エコパワーとうみ」が設立されます。東御市全体の再生可能エネルギーへの転換により、脱炭素化の推進に加え、エネルギーの「地産地消」をはかり、東御市の強靭化とエネルギーコストの抑制、域外流出を抑えることを目標としています。
市単独の補助事業は次の通りです。

- 定置型蓄電池設置補助金
- 住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金
- 木質バイオマスストーブ設置補助金
- 電気自動車購入補助金
- 省エネ家電製品普及促進事業補助金

生ごみリサイクル事業費
7534万円
生ごみリサイクル施設「エコクリーンとうみ」の運営費用です。
生ごみ処理機及び水切りバケツ等の設置に対しても補助金が出ます。

公民館学習講座運営事業費
579万円
公民館等での学習講座の開催費用です。
運営上の都合により講座数が減少しました。
委員から少人数のため開講できなかった講座に対して臨機応変な対応をしてほしいとの要望がありました。
組織変更に伴い、令和6年度から公民館学習講座の担当課は、地域づくり支援課となります。

健康・福祉

妊娠出産包括支援事業費
2684万円
妊娠届出時の面談から早期に支援を開始し、妊娠後期時妊婦訪問、出産後の乳児家庭訪問、産婦訪問等で面談を継続的に行い、出産から育児に至るまでの見通しを共に確認しながら必要な支援につなげる伴走型支援に要する費用です。
産後ケア、産後検診、母子相談、ママパパ学級等の費用も含みます。

生活困窮者自立支援事業費
2122万円
生活困窮者やひきこもりの方を対象に、相談業務の更なる強化を図ることにより、自立への支援を実施するとともに、一人ひとりの生活の安定をはかるための費用です。
具体的には、自立支援事業（まいさぽ東御）、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業、就労準備支援事業、アウトリーチ支援事業、一時生活支援事業、住宅確保給付金事業などです。

子育て・教育

滋野児童館建設事業費
3億3037万円
現在の滋野児童館は滋野小学校から離れているほか施設の老朽化が進んでいるため、小学校の近くへ放課後児童クラブと併設して新築移転を行います。
（経過・予定）
令和4年度　建設検討委員会設置
令和5年度　設計委託
令和6年度　工事着工
令和7年度　開所
使うエネルギーを減らし再生可能エネルギーを活用する脱炭素化の推進にも貢献する設計となっています。

滋野児童館平面図

子どもサポートセンター事業費
4394万円
全ての妊産婦、子育て世帯が、安心して出産・子育てできる環境を整えるとともに、すべての子どもの発達、成長を支えるため、子どもが大人になるまでの一連の成長ステージにおいて、子どもと子育て家庭に寄り添い、継続的かつ包括的な支援を実施するための費用です。

子育て・子育ち支援交付金事業費
5470万円
妊娠・出産・育児における不安感・孤立感といった精神的負担や経済的負担の軽減を図るため、地域全体で子どもの健やかな成長を支援する環境を整備するとともに、地域の多様な主体や様々な世代の市民が子どもと子育て家庭を見守り、応援できる環境づくりを推進するための費用です。
3歳未満の未就園児を養育する家庭への新たなサービスとして0歳児から利用できる一次預かり事業を始める費用及び、「子ども第三の居場所」が開所しますが、この運営費用にも充当されます。

学力・体力向上対策事業費
5613万円
児童生徒の基礎的な学力・体力の定着とデジタル教材の長所を活かしたICT教育を推進するための費用です。
ICT教育支援員、学力向上対策講師、ALT（英語教育指導員）等の人件費など学力向上対策に使われるほか、小学校教科書の改訂に伴う指導書等の購入費に充てられます。
ゆるスポーツや、放課後子ども教室など体力向上対策にも使われます。

不登校対策・特別支援教育事業費
4537万円
不登校又は不登校傾向にある児童生徒の学習機会の保証と登校支援、また発達に課題のある児童生徒への人的支援を行う費用です。
不登校児童生徒に対し、学習機会を保障するための中間教室の設置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー及び心の教室相談員が配置されます。
発達に課題のある児童生徒に対しては、きめ細かな支援を行うための特別支援教育支援員が配置されます。

DX

行政事務デジタル化推進事業費
960万円
先端デジタル技術の利用促進により業務効率化を図るほか、デジタル専門人材を確保し、市のDXの取組推進を図ります。

移住定住

空き家対策事業費
859万円
空家リフォーム補助・片付け補助事業を促進するための費用です。
地区別空き家懇談会を開催したことで見えた課題は何か質問があり、関心のある市民が少ないことがわかりました。今後は呼びかけ方を考えていく必要があるとの説明がありました。

シティープロモーション強化事業費
2000万円
市発足20周年にかかるシティープロモーションの強化による地域ブランド力向上のために要する費用です。

文化・スポーツ

総合型地域スポーツクラブ活動助成事業費
494万円
総合型地域スポーツクラブの活動及び運営に関する助成です。会員数の増加を図るため、地域イベントへの参加や外部委託事業などを広めつつ、魅力あるプログラムの提供に努めたいとの説明がありました。

体育施設等改修事業費
2000万円
市民プールサイド改修工事と中央公園第2体育館トイレ改修工事に要する費用です。

湯の丸高原屋内運動施設事業費
1億6511万円
湯の丸高原屋内運動施設の維持管理に要する費用です。経年劣化に伴う、アリーナ鉄骨及び、天井面パネル塗装等の修繕工事費用を含むとの説明がありました。

市発足20周年刀剣振興事業費
1785万円
市にゆかりのある刀匠をテーマとした展覧会等に要する費用です。

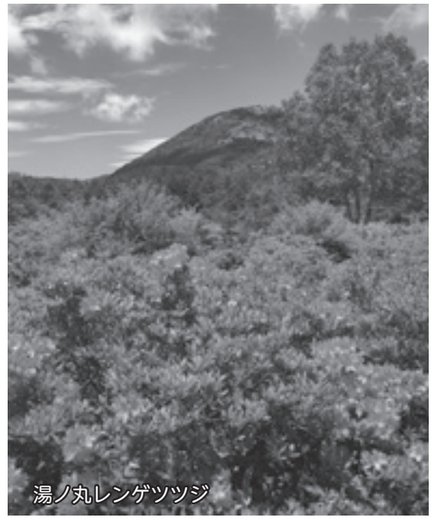
湯の丸プール

議案第2号　令和6年度東御市一般会計予算

反対討論
窪田 俊介 議員
本予算には、給食費保護者負担の緩和策に関するものが含まれる。令和6年度は物価高騰分を市で賄うが、補助を※漸減（ぜんげん）して令和9年度末でやめるとしている。令和6年度はその負担転嫁方針が始まる年度になる。食材費高騰分の負担を保護者に転嫁する方針に反対する立場から本予算に反対する。そもそも、定例教育委員会で負担転嫁を決めた議論において、保護者を財政と対立する存在として扱うような議論でこの方針が決まり、様々な財源措置の可能性を排除して5年先までの計画を立ててしまった。トップアスリートの育成施設には年4800万円の指定管理を5年間保証し、保護者には「物価高騰を実感せよ」とせまる。お金の使い方が違うのではないか。
※漸減（ぜんげん）とは、徐々に減少していくこと。

賛成討論
斉藤 哲 議員
令和6年度一般会計予算額は、前年度当初予算に対し2.3%増である。
行政サービスのDX化による利便性向上、子育て家庭支援である3歳未満の未就園児の一時預かり事業や子ども第三の居場所運営事業、深刻化し続けている空き家対策や災害対策等、いずれも喫緊の課題や市民ニーズに対し、細部にまで行き届いた積極的かつ効果的な予算が計上されている。
東部地区小学校給食センター化の問題は、市民ニーズに対応できるよう今後の説明会や検討会でしっかりと協議されるようお願いして、令和6年度も効果的な財政運営に配慮し、誰一人取り残さない社会の実現に向けて市民に寄り添う市政運営を期待して賛成する。

農業・商工業・観光


湯ノ丸レンゲツツジ

ワイン&ビアミュージアム
運営事業費　1350万円
ワイン&ビアミュージアムを広く知っていただくためのイベントや、ワインセミナーの開催によりワイン文化を醸成します。

地域物産販売促進施設費　510万円
御堂産ワインを中心に市内産ワインや、地域農産物等の販売、歴史や文化に触れながらワインを楽しむセミナーの開催等に要する費用です。
委員からワイン&ビアミュージアムでもワインセミナーは開催していて、同じような施設になるのではないかとの質問があり、地域や、施設にあったそれぞれのセミナーを開催し、補完しあえる施設にしていきたいとの説明がありました。

公共施設設備

市道県東深井線歩道設置費　2000万円
曽根地域の歩行者や通学児童・生徒の安全確保のための歩道整備の費用です。

市道金井片羽線歩道設置費　4000万円
乙女平地域の歩行者や通学児童・生徒の安全確保のための歩道整備の費用です。

道路施設等修繕事業費　1億8760万円
道路施設の長寿命化を図るため、点検、調査、修繕設計及び修繕工事15路線18工事の費用です。

橋梁点検・修繕費　5000万円
61橋の定期点検と、台風19号で被害を受けなかった橋脚と橋台の補修工事のための費用です。

下水道施設統廃合事業費　3900万円
令和6年度は寺坂地区接続工事と、東御市公共下水道全体計画の見直しをする費用です。

観光地域づくり支援事業費　2464万円
市発足20周年記念事業湯の丸高原つつじ祭り開催に係るイベントや、レンゲツツジの保全活動チームを新たに組織し、継続的な活動を開始するための費用です。

農業用施設耐震・長寿命化事業費　2050万円
防災重点農業用ため池の耐震改修工事等の費用です。

地域公共交通確保維持改善事業費　7295万円
地域公共交通システムの運営支援と、AI化したデマンド交通システムにより、質の高いサービスを提供します。
AIを使ったデマンド交通の利便性、利用率向上は、今後どのように向上させる予定かとの質問に、現在高齢者が中心だが高校生や、観光客にもPRを強化し、新たな需要を取り込むとの説明がありました。

令和6年度 特別会計予算

国民健康保険特別会計 32億1000万円

特定健康診査等事業費　4426万円
特定健康診査及び人間ドックの受診勧奨を行うと共に生活習慣病の発症・重症化予防に取り組む費用です。
健康診査委託料や、人間ドック・脳ドック受診者への補助金等に使われます。

市民病院の高性能MRI

フレイル対策推進事業費　658万円
フレイル予防に関する高齢者への意識啓発と介護予防の一体的な取り組みに要する費用です。
市民病院や身体教育医学研究所と連携して各種測定を行い予防に役立てます。

介護保険特別会計 29億6000万円

病院事業会計 25億6618万円

施設整備工事費　9600万円
市民病院の老朽化したボイラー設備等の更新に要する費用です。

医療機器等整備費用　7900万円
市民病院、みまき温泉診療所、助産所の設備更新費用です。超音波洗浄機、血液分析装置、医療用ベッドなどが整備更新されます。

令和5年度 補正予算

一般会計

議案第1号　補正第13号

災害支援費・備蓄事業費　878万円
能登半島地震の被災地支援に要する費用の増額補正です。
内容は長野県合同災害支援チーム(チームながの)での派遣・石川県羽咋市と輪島市へ5名です。
JMAT(日本医師会災害医療チーム)での派遣・石川県内の医療施設、避難所等へ医師、看護師、薬剤師、事務員4名です。
給水車の派遣・石川県七尾市へ給水車及び都市整備部職員4名です。
支援物資の提供・石川県七尾市へ、アルファ米等食料品3600食、飲料水(2ℓペットボトル)558本、ブルーシート41枚等です。

議案第9号　補正第14号

文化会館管理費　350万円
文化会館給水ポンプの緊急修繕に要する費用の増額補正です。

個人住民税定額減税対応システム改修委託料　171万円
物価高により厳しい状況にある生活者・事業者への支援のため、令和6年度分の個人住民税所得割額から納税者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき1万円の減額を実施するためのシステム改修に要する費用の増額補正です。

物価高騰住民税非課税世帯支援給付金　8595万円
物価高騰に直面する低所得者の家計負担を軽減するため、住民税所得割非課税世帯に対し、一世帯当たり10万円の支援給付金の支給に要する費用の増額補正です。

低所得世帯へのこども加算給付金　2570万円
物価高騰に直面する低所得世帯の家計負担を軽減するため、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税されている子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円の支援給付金の支給に要する費用の増額補正です。

中学校修繕事業費　3606万円
東部中学校のトイレ改修工事に要する費用の増額補正です。
東部中学校のトイレは14箇所で、和式トイレが73基、洋式トイレが21基、洋式である多目的トイレが10基。和式トイレをすべて洋式トイレへ更新するほかウォシュレット仕様でない洋式トイレもウォシュレット仕様にします。
工事の実施年度は、令和6年度から令和8年度までの3年間を予定しています。
児童・生徒の安全確保のための歩道整備の費用です。

市道金井片羽線歩道設置費　4000万円
乙女平地域の歩行者や通学児童・生徒の安全確保のための歩道整備の費用です。

道路施設等修繕事業費　1億8760万円
道路施設の長寿命化を図るため、点検、調査、修繕設計及び修繕工事15路線18工事の費用です。

橋梁点検・修繕費　5000万円
61橋の定期点検と、台風19号で被害を受けなかった橋脚と橋台の補修工事のための費用です。

下水道施設統廃合事業費　3900万円
令和6年度は寺坂地区接続工事と、東御市公共下水道全体計画の見直しをする費用です。

議案第10号　補正第15号

民間資金等活用事業調査費　9680万円
国の採択による民間活力導入可能性調査の実施に係る委託料の増額補正です。
北御牧農業試験地・御堂地区地域産物販売促進施設等が対象です。

子育て家庭支援体制構築事業費　162万円
子育て訪問支援事業に係る委託料の増額補正です。
訪問料0円に変更したことにより委託事業者を2社から3社に増やし、訪問件数見込200件を300件に増やしたものです。

有害鳥獣対策諸経費　356万円
農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲対策に要する費用の増額補正です。
捕獲実績は
ニホンジカ　214頭
イノシシ　60頭
ツキノワグマ　40頭
ハクビシン　11頭
カラス　760羽
などとなります。

給食センター施設維持補修費　100万円
北御牧学校給食センターの備品(冷蔵庫)購入に要する費用の増額補正です。

東部地区小学校給食センター建設事業費　330万円
東部地区小学校給食センター建設事業の用地取得に要する費用の増額補正です。
補償物件調査業務委託料と不動産鑑定委託料です。

議案第44号　補正第16号

生活保護費　202万円
受給者の増加に伴う生活扶助費の増額補正です。

農業災害対策諸経費　800万円
令和6年2月の降雪及び暴風により、被害を受けた農業用施設の復旧に要する費用の増額補正です。

反対討論

議案第10号　令和5年度東御市一般会計補正予算

窪田 俊介 議員

本補正予算には、東部地区小学校給食センター建設事業費330万円の予算が計上された。同時に、東部地区小学校給食センター計画について2つの請願が提出され、それぞれ数百の署名を添えている。これは、昨年12月定例会で「センター化以外の選択肢はない」と、市政への市民参加を断ったからだ。今定例会では「北御牧給食センターを整備した平成27年度以降、適切な在り方について内部検討してきた経過がある」とした。ならば「経過の分かる資料を」と求めても出てこなかった。4月から市役所の組織体制も変わるが、系統的な執行ができるのか。市民を置き去りに進む市政に、市民の心は離れる。今からでも立ち止まり、関係者との議論をするべきだ。

令和6年3月 定例会の提出案件の審議結果

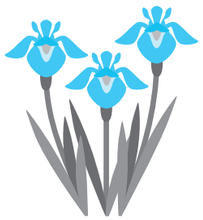
議案番号	案　件	採決結果	予算決算特別委員会審査結果
専決処分の承認（補正予算1件）			
議案第1号	令和5年度東御市一般会計補正予算（第 13 号）の専決処分の承認を求めることについて 能登半島地震の被災地支援等 878 万円の増額補正	◎	—
令6年度東御市予算（関連記事P2～6）			
議案第2号	令和6年度東御市一般会計予算 予算額 153 億 4000 万円（前年比+3 億 4800 万円）	○	○
議案第3号	令和6年度東御市国民健康保険特別会計予算 予算額 32 億 1000 万円（前年比 -5300 万円）	◎	◎
議案第4号	令和6年度東御市介護保険特別会計予算 予算額 29 億 6000 万円（前年比 -200 万円）	◎	◎
議案第5号	令和6年度東御市後期高齢者医療特別会計予算 予算額 4 億 6160 万円（前年比+6630 万円）	◎	◎
議案第6号	令和6年度東御市水道事業会計予算 予算額 11 億 2624 万円（前年比+6654 万円）	◎	◎
議案第7号	令和6年度東御市下水道事業会計予算 予算額 28 億 8729 万円（前年比+2 億 3681 万円）	◎	◎
議案第8号	令和6年度東御市病院事業会計予算 予算額 25 億 6618 万円（前年比−1 億 7615 万円）	◎	◎
令和5年度東御市補正予算（関連記事P7）			
議案第9号	令和5年度東御市一般会計補正予算（第 14 号） 物価高騰による支援給付金等　1 億 5492 万円増額補正	◎	—
議案第10号	令和5年度東御市一般会計補正予算（第 15 号） 事業実施に伴う不用額等　3 億 5286 万円減額補正	○	○
議案第11号	令和5年度東御市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 一般非保険者に係る医療給付等　134 万円の減額補正	◎	◎
議案第12号	令和5年度東御市介護保険特別会計補正予算（第4号） 介護サービス事業費等　1656 万円の増額補正	◎	◎
議案第13号	令和5年度東御市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 後期高齢者医療広域連合納付金等　1682 万円の増額補正	◎	◎
議案第14号	令和5年度東御市水道事業会計補正予算（第1号） 既決支出予算額を 48 万円減じて 10 億 5970 万円とする	◎	◎
議案第15号	令和5年度東御市下水道事業会計補正予算（第1号） 既決予算額を 3557 万円減じて 26 億 5049 万円とする	◎	◎
議案第16号	令和5年度東御市病院事業会計補正予算（第2号） 既決予算額と変わらず 28 億 4234 万円とする	◎	◎
議案第44号	令和5年度東御市一般会計補正予算（第 16 号） 被害を受けた農業用施設復旧等　1002 万円の増額補正	◎	◎

議案番号	案　件	採決結果	常任委員会審査結果 総務産業	常任委員会審査結果 社会文教
条例の新設・一部改正等（関連記事P10）				
議案第17号	東御市職員の配偶者同行休業に関する条例 職員の継続的な勤務を促進し、公務の円滑な運営を資するため所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第18号	東御市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 勤務時間外の自宅待機を命じられた医師への待機手当について、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第19号	東御市手数料条例の一部を改正する条例 地方公共団体の手数料の政令の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第20号	東御市同和集会所条例の一部を改正する条例 西宮集会所における各事業の令和5年度末の廃止により、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第21号	東御市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例 福祉医療費の給付対象に係る県の制度拡充に伴い、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第22号	東御市重度心身障害児年金条例の一部を改正する等の条例 重度心身障害児年金の段階的な廃止により、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第23号	東御市人権啓発センター条例の一部を改正する条例 予約システムの導入に伴い、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第24号	東御市介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険法施行規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第25号	東御市都市公園条例の一部を改正する条例 東御中央公園の利活用を図るため、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第26号	東御市営住宅に関する条例の一部を改正する条例 被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第27号	東御市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第28号	東御市水道条例の一部を改正する条例 水道法の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第29号	東御市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第30号	東御市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 政令の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第31号	東御市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 基準の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	—	◎
議案第32号	東御市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例 法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第33号	東御市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例 空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、所要の改正を行う	◎	◎	—
議案第34号	東御市地域産物販売促進施設条例の一部を改正する条例 東御市地域産物販売促進施設条例の施行期日を延期します	◎	◎	—
議案第35号	第3次東御市総合計画基本構想の策定について 第3次東御市総合計画基本構想を策定するため	◎	◎	—
議案第36号	財産の取得について 地域ケーブルネットワーク整備事業に必要な備品を取得するため	◎	◎	—
議案第37号	上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて 上田地域広域連合ふるさと基金の一部を地域医療対策事業に充当するもの	◎	◎	—

採決結果 ：◎は全会一致　○は賛成多数　×は否決

議案番号	案　件	採決結果	常任委員会審査結果 総務産業	常任委員会審査結果 社会文教
条例の新設・一部改正等（関連記事P10）				
議案第38号	市道路線の認定について 祢津 106 号線、祢津 114 号線、祢津 300 号線の3路線を市道として認定する	◎	◎	—
議案第39号	市道路線の廃止について 機能が廃止されているため、廃止する	◎	◎	—
議案第43号	東御市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 省令の施行に伴い、所定の改正を行う	◎	—	◎
人事				
議案第40号	人権擁護委員候補者の推薦について 東城　正彦さん	◎	—	—
議案第41号	人権擁護委員候補者の推薦について 寺島　暁美さん	◎	—	—
議案第43号	人権擁護委員候補者の推薦について 岩下　欣弘さん	◎	—	—
請願・陳情				
陳情第31号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	議席配付	—	—
請願第８号	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の速やかな改正に関する請願	採択	採択	—
請願第９号	東部地区小学校給食センター建設計画において将来の学校給食のために、ひらかれた議論の場を求める請願	採択	—	採択
請願第10号	東部地区4小学校給食センター建設計画はいったん立ち止まり、自校方式の継続をふくめ再検討してください	不採択	—	不採択
請願第11号	学校給食費の保護者負担増の中止をもとめます	不採択	—	不採択
議員提出議案				
議員提出議案第1号	東御市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の提出について	◎		
議員提出議案第2号	東御市議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について	◎		
議員提出議案第3号	東御市議会会議規則の一部を改正する規則の提出について	◎		
議員提出議案第4号	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の提出について	◎		

常任委員会・予算決算特別委員会審査結果の「—」印は、委員会に付託されなかった案件です。
採決結果 ：◎は全会一致　○は賛成多数　×は否決



賛成討論

◆請願第8号「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の速やかな改正に関する請願」

市毛 真弓 議員

無実の人を処罰するのは、人生を破壊する最大の人権侵害。再審制度は、間違った有罪判決から無実の人を救済する唯一の手段である。本請願は現行の再審法に制度的・構造的問題があると指摘し、改正を訴えている。再審法は、人権擁護の理念に基づき間違った判決により、有罪の確定判決を受けた冤罪被害者を迅速に救済する制度でなくてはならない。よって本請願を採択することに賛成する。

令和6年3月 定例会の議決結果

下記以外の議案等は、全会一致でした。

議案番号 ＼ 会派名・議員名 ／ 案　件	さわやかな風の会 長越 修一	さわやかな風の会 依田 俊良	さわやかな風の会 山崎 康一	さわやかな風の会 中村 眞一	さわやかな風の会 滝澤 栄一	さわやかな風の会 田中 博文	東翔の会 田中 信寿	東翔の会 瀬田 智之	東翔の会 大塚 博文	しんせいの会 花岡 豊一	しんせいの会 村山 弘子	しんせいの会 斉藤 哲	公明党 髙木真由美	公明党 西山 福恵	日本共産党 窪田 俊介	日本共産党 市毛 真弓
議案第２号	令和6年度東御市一般会計予算	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第10号	令和5年度東御市一般会計補正予算（第 15 号）	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
請願第８号	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の速やかな改正に関する請願	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
請願第９号	東部地区小学校給食センター建設計画において将来の学校給食のために、ひらかれた議論の場を求める請願	●	●	●	／	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
請願第10号	東部地区4小学校給食センター建設計画はいったん立ち止まり、自校方式の継続をふくめ再検討してください	●	●	●	／	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○
請願第11号	学校給食費の保護者負担増の中止をもとめます	●	●	●	／	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

本会議での各議員の賛否（賛成・採択「○」、反対・不採択「●」、退席「退」、議長「／」、欠席「欠」）

条例等

主な新設・一部改正条例等

東御市都市公園条例の一部を改正する条例

東御中央公園の利活用を図るため、指定管理者が行う業務に東御中央公園の利用の許可並びに管理運営に関する業務を加えます。他中央公園の利用料金を定めるとともに減免や還付に関する規定を加えます。

東御市職員の配偶者同行休業に関する条例

職員の継続的な勤務を促進し、公務の円滑な運営に資することを目的とし、配偶者同行休業の制度を設けるため、新たに条例を制定します。

東御市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行規則の一部改正に伴い、条例に準じて基準所得金額の範囲を現行の10段階から13段階へ改めるほか所要の改正を行います。

東御市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、消防作業従事者等の補償基礎額・非常勤消防団員の補償基礎額をそれぞれ改正します。

東御市同和集会所条例の一部を改正する条例

西宮集会所における各事業が所期の目的を達成し、令和5年度をもって廃止するため所要の改正を行います。

東御市重度心身障害児年金条例の一部を改正する条例

東御市重度心身障害児年金が所期の目的を達成したことから、段階的に金額を定め令和7年度限り廃止をします。

再審法の改正を求める意見書提出

本意見書は、えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審請求手続きにおける全面的な証拠開示を制度化すること、再審開始決定に対する検察官の不服申し立てを禁止すること、再審請求審における公正な手続きを整備することを盛り込んだ「最審法(刑事訴訟法の再審規定)」を速やかに改正することを求めるものです。これに対して、えん罪は人の人生を変えてしまう重要な問題であるが法律にもかかわって来るため、一議会で決めることではないとの反対意見がありました。一方で、法の不整備によってえん罪被害を受ける人をなくしていく全体の動きを応援するためにも意見書を提出すべきとの賛成意見がありました。本会議では賛成多数で提出することが可決されました。

東御市議会　令和5年度

政務活動費収支報告

会派ごとの収支報告書、活動報告書を市議会ホームページに掲載しましたのでご覧ください。

政務活動費は、地方議会の議員に政策調査研究等の活動のために支給される費用です。
東御市では、議員1人当たり月額1万円を会派の所属議員数に応じ会派に交付され、会計年度に応じて収支報告することとなっています。

令和5年度　政務活動費収支報告一覧表　（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

会　派　名	所属人数	交付金額(ア)	支出金額(イ)	差引金額(ア)-(イ)	交付確定額	返還額
公　明　党	2	240,000	261,442	－21,442	240,000	0
さわやかな風の会	6	720,000	587,002	132,998	587,002	132,998
東 翔 の 会	3	360,000	392,163	－32,163	360,000	0
日本共産党	2	240,000	166,564	73,436	166,564	73,436
しんせいの会	3	360,000	406,025	－46,025	360,000	0
合　　計	16	1,920,000	1,813,196	106,804	1,713,566	206,434

（単位：円）

予算決算特別委員会審査報告

予算決算特別委員会委員長　瀬田智之議員

予算決算特別委員会では、総務産業委員会、社会文教委員会それぞれの予備審査報告に基づき、令和6年度一般・特別・公営企業会計および令和5年度の補正予算に関する14議案を審査しました。

このうち議案第2号　令和6年度東御市一般会計予算における総務課の審査では、能登半島地震の支援について活動内容の日報を庁内で共有していると報告があり、委員からは機会を設けて報告会を行い、市の災害対策に活かしてほしいとの意見がありました。

また、子ども家庭支援課の審査では、所管が教育委員会事務局へ移管になる理由について質疑があり、幼保小連携を一番に考えて移管するとの回答がありました。委員からは、所管が変わったとしても保育園の在り方が変わらないようにしてほしいとの要望がありました。

採決にあたり、委員から学校給食費の保護者負担増を前提とした予算の始まりとなるため反対するとの意見がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

社会文教委員会 現地調査報告

社会文教委員会は、3月6日に総務産業委員会と共に、4月に開設予定の東御市子ども第三の居場所「ゆめぽけっと・とうみ」の現地調査を行いました。子ども第三の居場所は、ありのままの自分を受け入れ、安心して過ごすことができる地域のもう一つの家であり、この事業は社会福祉法人東御市社会福祉協議会に委託して行われるとのことです。

対象児童・生徒は、安心できる環境や温かな人間関係を求める子ども、多様な学びを求める子ども、留守家庭の子ども等、市内の小・中学校に通学する支援の必要な児童・生徒です。

また、子ども第三の居場所「ゆめぽけっと・とうみ」の利用は、平日は午後1時から、長期休みは午前7時半からの利用になりますが、平日の午前中の時間は、市の事業として、子どもの成長と発達のサポート事業が行われる予定です。この事業は、就学前の子どもと保護者を対象に、子どもの発達段階や特性に合わせてより専門的な支援を提供するとのことです。

「ゆめぽけっと・とうみ」の視察

子ども第三の居場所で提供すること

一、**安心な居場所**　なんでも相談できる場であり、スタッフやお友達と安心して過ごせます。
二、**あたたかい食事**　準備や片付けも一緒にしつつ楽しく食事をします。
三、**学習サポート**　宿題の見守りなどを通じて、学習や意欲を育みます。
四、あそび・体験活動、お友達と取り組む楽しい体験活動をたくさん企画しています。

総務産業委員会 現地調査報告

湯の丸高原屋内運動施設修繕工事

令和5年10月に債務の早期償還がされた湯の丸高原スポーツ交流施設(屋内運動施設)修繕工事(費用6700万円)が令和6年度に予定されています。使用開始から5年での修繕工事の、現地調査をしました。

修繕内容は、①として、鉄骨等塗装改修工事、アリーナの鉄骨、天井面パネル・高窓面壁の塗装が施工内容です。施工にはアリーナ全面に足場を組み立ての作業となります。②屋根改修工事はアリーナ部の大屋根と手前の子屋根の重なる部分が落雪せず荷重がかかるため外壁の補強と落雪対策の増設をするものです(写真参照)。塗装修繕工事の個所は、壁面上部の鉄骨に錆が多く発生していました。結露した水滴にプールから蒸発した塩素が混じり、錆が進行する原因とのことでした。また、高窓面壁は水滴が流れた跡の確認ができました。今回の修繕には最適な塗料を選択し10年は持たせたいとのことでした。工期については五輪後の9月から3ヶ月の予定です。

今後利用者にとって喜ばれ多くの方に東御市を知ってもらうツールであることを願いながらも維持管理については注視していきます。

屋根改修工事箇所

学校給食について

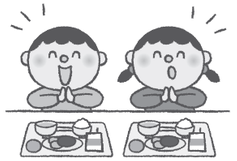
3月定例会において学校給食に関する請願が3件提出されました。それぞれの請願に対し討論が行われ、次の通り採決されました。

予算に関する議案としては、令和5年12月定例会に上程された、給食センター建設基本設計業務委託料1122万円があります。

用地取得に関連した保証物件調査業務委託料330万円および給食施設検討会議費用9万6千円があります。

いずれも、基本的な検討に必要な予算として可決されています。

しっかりした基礎資料を基に、給食のよりよいあり方を考えていきたいものです。



請願第9号
東部地区小学校給食センター建設計画において、将来の学校給食のために、開かれた議論の場を求める請願

賛成多数で採択

反対討論　滝澤栄一議員

東部地区の給食室は、老朽化で安全安心な調理の面で課題を抱えており、建設計画は、課題を克服した期待に応えられる計画ととらえるのが妥当。センター方式の給食は北御牧の実績や経験が参考になると考える。

アレルギー対応した給食の提供など、日々の給食に不安を抱える子どもたちの課題にブレーキがかかり、建設が先送りになってしまう事は避けるべきだと考え、本請願に反対する。

賛成討論　田中信寿議員

請願は給食センター建設に対し理解した上で、これから保護者も含め、学校給食に対しそれに係わる関係者が広く意見を述べ合い議論が出来る場を求める請願である。保護者の皆さんの声を反映していくことは、より良い給食センターを建設して行くために不可欠であり、さらには市民と行政とによる「協働のまちづくり」にも資することであり汲むべきであると考え採択に賛成する。

賛成討論　窪田俊介議員

本請願は、趣旨説明文でPTA理事会への配布資料について「令和5年度、用地交渉・基本設計業務委託、令和6年度4月・4小学校PTA総会で説明と、保護者の要望や意見の反映は、困難であることを示唆している」と指摘。「市民との対話と合意形成のないまま計画が実行される状況は、大変遺憾」と、700筆弱の署名を添えて「ひらかれた議論の場」を求めている。受け止めるべき声である。

請願第10号
東部4小学給食センター建設計画はいったん立ち止まり、自校方式継続を含め再検討してください

賛成少数で不採択

反対討論　大塚博文議員

給食室の老朽化は著しく、衛生面、労働環境面においても急ぎ改善しなければならない。このような状況においては、給食室の問題をどのように改善するか前向きな議論をすることが重要である。請願は、白紙に戻すことを求めている。これは問題の棚上げになるだけであり、前向きな議論とは言えない。よって採択に反対する。

賛成討論　市毛真弓議員

センター化計画は市民・関係者の意見を聞かず上から押し付けるやり方になっている。補正予算審議の質疑応答で教育課長は「総合教育会議等での議論というのは、教育委員と例えば市長部局等が合わさるような、そういう会議の中での検討はされていない」と答弁。やるべき議論・審議を行なっておらず、適正手続きを要する行政法規にも則っていないことが明らかである為、不採択に反対する。

請願第11号
学校給食費の保護者負担増の中止を求めます

賛成少数で不採択

反対討論　市毛真弓議員

市議会は昨年6月定例会にて、国と県に給食費無料化を求める意見書を提出した。市でも交付金やふるさと納税等の活用を検討し、保護者の負担軽減に向け努力するのは当然である。よって令和7年度からの負担増を現時点で決定する道理はない。昨年9月の定例教育会議で負担増を決定しているが、その審議は十分ではない。したがって保護者の負担増中止を求める請願の不採択に反対する。

賛成討論　長越修一議員

本請願は、物価高騰等により給食費を値上げすることに反対するものだが、市では国からの地方創生臨時交付金などを活用し食材費の値上がり分の補助を行い、保護者の負担軽減に努めた。

しかし、まだまだ物価高騰が続いているなかで、食材や献立の工夫だけでは充分な栄養価を満たす給食の提供が困難になっている状況である。そこで、よりよい給食の提供のためには給食費を値上げすることはやむを得ないと考え不採択とする委員長の報告に賛成の討論とする。

特別企画

子育て支援センターインタビュー

～こども一時あずかりについて～

広報調査特別委員会で子育て施策について、インタビューしました。

普段利用していて感じていること

職員の方がやさしくて、親身に接してくれます。
家でいっぱいいっぱいになってしまうことも、職員のみなさんに話を聞いてもらってます。
家でいると子どもと一対一になってしまうので、ストレスが発散できます。
他にも子育ての悩みを相談できるし、気軽にこれる場所で助かってます。

あかねさん
りゅうあんちゃん　すいちゃん

一時預かりについてどう感じていますか

気軽に預けられそうです。
知らない場所だとハードルが高いので、おためしで使うこともできるんです。
おせわになっている場所で預けられるので安心。一人の時間をつくる事ができるのはありがたい。ニーズが多ければこれから増やして欲しいです。

ゆなさん　かいりちゃん

東御市の子育て施策について

二人目が生まれても、保育園に預け続けられるのはありがたいです。
小学校が長期休みに入ってしまうと、支援センターに来れないのは残念。
上田市では小学生以下の子は連れてきていいので使いやすいですね。
保健師さんへの相談が火曜日だけにせず、ほかの曜日でも使えるようにしてもらいたいです。
支援センターで相談会を無料でたくさん開いてほしい。子どもが遊べる東御市産のくるみや木材を使ったおもちゃなどもあったらいいな♪

あやみさん　ななかちゃん

東御市の情報伝達はどう？

すくすくポケットで図書館などの情報がまとまっていてとても見やすいですよ。
SNSをもっと活用して、欲しい情報を選択して配信してもらえるようになったらいいな。

はるかさん
しゅんすけちゃん
ひなのちゃん

議員11名 市政を問う

一般質問こちら▶ 東御市議会

東御市議会のホームページから、今回の一般質問を動画で見ることができます。パソコン、スマートフォンから、いつでもご覧いただけます。

一般質問

瀬田 智之
- 空き家対策について
- シティプロモーションについて
- 東部地区小学校給食センター建設について

村山 弘子
- 東部地区給食室の現状と今後について
- 市の若年無業者の現状と課題について
- 令和６年度４月１日付市の組織改正について

西山 福恵
- 災害時における市の対応について
- 投票率向上と投票しやすい環境の取組について

田中 信寿
- 再犯防止推進計画について
- 水田活用の直接支払交付金について
- 二地域居住の促進について

滝澤 栄一
- 地域公共交通について

山崎 康一
- 介護予防事業について
- 障がい者への支援について

大塚 博文
- 上下水道の地震対策について
- 児童館・児童クラブの運営状況について

窪田 俊介
- 湯の丸高地トレーニング施設の運用と資金計画について
- 木質バイオマス発電について
- 生涯学習課廃止と補助執行について

田中 博文
- 東御市シティプロモーション戦略について
- 医療の2024年問題について

市毛 真弓
- 東部地区小学校給食センター建設事業について
- 学校給食費の改定について

髙木 真由美
- 人口減少、少子・高齢化対策について
- 学校教育におけるＤＸ化について
- 学校での健診等の実施状況について

東部地区小学校 給食センター建設について

瀬田 智之（せた ともゆき） 議員

問 給食センター建設計画を含め学校給食について市長の考えは。

市長 メリット・デメリットがあるが、選択肢として１つしかないものを２つあるがごとく語ることが私は間違っている可能性があるというふうに認識をして、はっきりとその方向で説明会を丁寧にやらせていただく。理解を得ながら民営化ということも語られ始めている状況であるが、自校式の良さを残したセンター化という中で、しっかりとした良い施設の中で市の職員が責任を持って給食を提供していくという道を歩んでいけたらと思っている。

問 令和４年度給食室維持管理費は、またそれらを踏まえ自校式給食の継続についての検討はどうだったか。

教育次長 修繕費、備品費合計で１１０９万９６３８円である。自校給食の継続については、アレルギー対策やドライシステムなど適正な環境の下で調理するため、一時的な改修、修繕によるものではなく学校施設内に新たに再建する必要があると判断した。用地の確保や栄養教諭の配置を含めた人員体制など老朽化が進む現状では避けられない課題であると認識している。

問 建設・稼働の予定は。

教育次長 建設・稼働については、まだ未定だが、できるだけ早く着工したいと考えている。

問 稼働後の施設のトラブルなどが起きた場合の対応について

教育次長 施設のトラブルなどにより給食の提供ができなくなった場合は、緊急対策として備蓄食品を提供し、備蓄食品がなくなったときは、弁当の持参をしていただくことを想定している。

小学校給食室の様子

村山 弘子（むらやま ひろこ） 議員

東部地区給食室の現状と今後について

問 施設の現状はどうか。

教育次長 建築年数が古い上に、ドライシステムではない。食物アレルギー対応の専用調理室もない。

問 給食センターの建設が望ましいという結論を出す前に、丁寧に市民や保護者の皆さんに説明はしたか。

教育次長 順次行っている。

問 市長のお考えを伺う。

市長 市も、納品業者も、保護者も、子ども達の意見も大切にしてこなかった私もいるなと反省をしている。新しい給食センターを数年かけて建設していく中で、今よりも良くなることを確信しているし、良くなるための計画を仕上げていくために皆さんの意見をお聞きしながら、その先頭に立たせていただきたい。

まいさぽ東御のパンフレット1ページ目

市の若年無業者の現状について

問 仕事をしていない、求職活動もしていない　家事も通学もしていない15才から34才の人数は。

教育次長 市では107名。

問 どう分析しているか。

教育次長 10年前の約3倍に増加している。市では増加原因は分析していない。

問 これまでの取り組みは。

教育次長 「青少年支援チーム」や社会福祉協議会「まいさぽ東御」による居場所の提供、相談、就業のあっせん等をしている。

問 具体的にしていることは何かあるか。

社会福祉部長 自立や就労支援等に向けた相談支援とコミュニケーション能力の向上を図るための支援。

※その他、組織改正について質問をし、生涯学習課がなくなることや保育課業務が教育委員会に委任させることにより場所が移動すること等を市民に丁寧に説明してほしいと要望した。

西山 福恵（にしやま ふくえ） 議員

災害時における市の対応について

問 災害時の高齢者や要配慮者に係る避難所での具体的な対応はどうか。

総務部長 プライベート空間を確保するための間仕切りや多目的ベッドの優先使用のほか、運営スタッフの目が届きやすい場所に専用エリアを設けるとともに、福祉避難所等、二次避難場所の早期確保と誘導など、個々の健康状態に配慮しつつ、本人の意思を尊重しながら臨機応変な対応に努める。

問 福祉避難所について市の現状と、作成が努力義務になっている個別避難計画はどのようか。

健康福祉部長 福祉避難所は現在３事業者９施設で受け入れの承諾をいただいている。個別避難計画については、令和５年度は、高齢者を対象とし、田中、祢津、北御牧地区の河川流域の区から作成を行い、１０２名分が作成できており令和６年度は、残る高齢者分の作成を引き続き行うとともに、障がい者を対象とした計画の作成も行っていく。

問 避難所での女性の性被害を防ぐためトイレの配置、防犯ブザーなどを備蓄品に追加することや、女性職員の複数人配置が必要と考える、市の現状をうかがう。

総務部長 市が定めている避難所運営マニュアルついても、女性の視点にも配慮した見直しも随時行っている。今回の能登半島地震では、いくつか課題が指摘されている。今回の震災を教訓に改めて見直しを行い、必要な対応をしていく。

※他に投票率向上と投票しやすい環境について質問し、特に若者の投票率向上と主権者教育について質問した。

支援物資をトラックに積む様子

田中（たなか） 信寿（のぶひさ） 議員

再犯防止推進計画について

問 再犯罪を防ぐ、再犯防止推進計画の策定に至る経緯はどうか。

健康福祉部長 再犯罪の防止等に関する施策を実施する責務が、国だけでなく地方公共団体にもあるとして、地方公共団体も再犯防止推進計画を策定することが努力義務となった。市においても、犯罪を起こさない社会を目指し、誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、計画を策定することとした。

問 計画策定のスケジュールはどうか。

健康福祉部長 計画期間を令和7年度から令和11年度の5年間とし、東御市地域福祉計画とあわせて計画の策定を進める。

令和5年度は市民アンケートを実施し、令和6年度は更生保護団体や庁内関係部署等と協議しながら計画の素案をまとめ、令和7年3月末までに計画を策定する予定。

問 再犯罪防止は生活を安定させることが重要で、そのためには、住居・就労確保の支援、保健医療・福祉サービスの利用促進のための支援、学校等と連携した修学支援などが必要である。

こうした支援は、更生保護団体などの関係諸機関との連携により行うことでより効果的であると考えるが、策定される計画ではどうか。

健康福祉部長 再犯を防止するためには、罪を犯した者等が社会復帰後、地域社会で孤立させない「息の長い」支援が必要である。

このため、計画の策定及び推進にあたっては、東御市保護司会、東御市更生保護女性会、福祉関係団体及び庁内関係部署等とも連携を図りながら再犯防止の取り組みを進めていく。

静岡刑務所の刑務所作業製品展示即売所

滝澤（たきざわ） 栄一（えいいち） 議員

定時定路線バスの見直しと、デマンド交通運行システムのAI化の概要は

問 定時定路線バスの運行見直しの経過と見直し後の効果はどうか。

産業経済部長 昨年10月に運行ルートと時刻の見直しを実施した。運行経路の重複や極めて利用の少ない停留所を廃止し、部活動終了後の中学生や高校生の帰宅に利用可能な夕方便の増便など、利用者増を見込んだ新たなルート設定した。八重原線では小学生の利用増により急遽12月より1便を増発して対応した。

問 とうみレッツ号配車システムのAI化の概要はどうか。

産業経済部長 人工知能による配車機能を搭載した新システムを導入し、この3月からの稼働に向けて準備を進めている。

AI化されたシステムは、5台のデマンド車両の現在位置や乗車人数・目的地などの運行状況をリアルタイムで把握しているため、どの車両を配車するのが最も効率的かを瞬時に判断し車両へと指示を送ります。待ち時間や乗車時間の大幅な短縮など、利便性が飛躍的に向上するものと期待している。

問 高齢者などの利用方法はどうなるのか。

固定電話や携帯電話をお使いの方は、これまでどおり予約センターでオペレーターが予約を受け付けます。

問 デマンド交通は観光客の足としても利用できるか。

産業経済部長 スマートフォンからのアプリ登録することで即座に利用予約が可能となるため、事前にアプリから登録申請をしていただければ、自由に予約してご利用いただける。例えば、ワイナリーや温泉めぐり、ワインの試飲といった目的にも利用可能です。

観光客の足としても利用可能なとうみレッツ号

山崎（やまざき） 康一（こういち） 議員

介護予防事業について

問 移動に支援を要する高齢者の外出支援について、何か検討している事業はあるのか。

健康福祉部長 新しい移動システムの構築に先進的に取り組んでいる前橋市や黒部市の事例提供を受け、介護事業所の送迎をIT化し、デイサービスの利用者の朝夕の送迎の途中に、通所日ではない利用者の通院や買い物の移動を組み込むことで、通所日以外の外出支援ができるようなシステムについて検討をはじめている。現在は先進地より支援を受けながら、趣旨に賛同いただいた市内の通所型サービスを提供している事業所において、試験的に導入していただいている。

どす来いクラブ

障がい者の支援について

問 障がいをお持ちの方に対する様々な支援やサービスの周知について、どのような取り組みを行っているのか。

健康福祉部長 福祉課窓口において障がい者手帳を交付させていただく際、障がい者が受けることができる様々なサービスを記載した障がい者・障がい児福祉のしおりという冊子をお渡しし、取得した手帳の種類や等級等に応じて使えるサービスや支援についての説明を行ったり、該当になるサービスについては、その場で手続きや申請等を行っていただいている。なお、利用についての相談があった場合は、市のケースワーカーが個別に対応し、サービスの内容や手続き方法等について説明を行いご本人やご家族の意向や目標等を確認し、必要に応じて関係機関などに繋げ、その時々の状況や状態に応じたサービスを受けていただいている。

大塚（おおつか） 博文（ひろふみ） 議員

上下水道の地震対策及び児童館・児童クラブの運営状況について

問 上下水道管及び浄化センターの耐震性はどうか。

都市整備部長 上水道管は耐震性のあるダクタイル鋳鉄管に変更済み。下水道管は硬質塩化ビニル管やコンクリート製の管を使用しており耐震性は低い。浄化センターの設備にも耐震性の低いものがある。今後、逐次対策していく予定。

問 農村集落排水施設が公共下水道に統合されたが、広域化することで地震により被害を受けやすくなったと考える。何か対策を考えているか。

都市整備部長 統廃合により廃止した処理場の処理槽を一時的な「非常用汚水貯留槽」として使う計画となっている。

問 避難所生活を余儀なくされた場合のトイレ対策はどうか。

総務部長 災害協定に基づき仮設トイレを速やかに設置する体制を整えている。

使われなくなった集落排水処理施設

児童館・児童クラブの運営状況について

問 田中、祢津、滋野の児童館は3年生迄しか受け入れていない。長期休暇中の利用者数は少ないので、高学年も受け入れることができないか。

教育次長 長期休暇中は受け入れを行っている。

問 児童館は高学年の児童が弟や妹と待ち合わせる場所にもなっている。登録していない児童でも中に入って待つことはできないか。

教育次長 状況に応じて柔軟に対応している。

問 長期休暇中の児童館の開館時間を繰り上げることができないか。

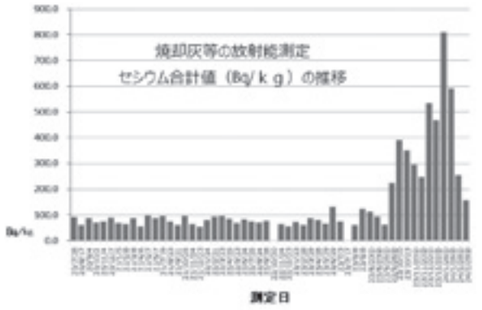
教育次長 来年度試験的に開館時間を早めることを検討している。

焼却灰の放射能濃度上昇について原因究明と低減の具体的措置を求める

窪田 俊介（くぼた しゅんすけ） 議員

問 信州ウッドパワー株式会社の木質バイオマス発電事業の焼却灰について、１００Bq／kg以下だった放射能濃度が、覚書の基準値５００Bq／kgに迫っているというのが、前回12月定例会時点のことだった。現状と原因究明はどうか。

市民生活部長 その後の測定値は、1月8日分は８１０Bq／kg、最新の1月14日分で５９０Bq／kgである。これらは、文部科学省により示された、福島第一原子力発電所事故の影響がみられる長野県東部県境地域から木材の搬入があり、燃焼材に使用されていることが主要因と、市は捉えている。



焼却灰等のセシウム合計値の推移

問 事業者に申し入れた今後の対応の詳細はどうか。

市民生活部長 覚書では、長野県環境部が示す「一般廃棄物処理施設における放射性物質のモニタリングについて」に準拠した５００Bq／kgを超過した場合、事業者は速やかに市に報告し、必要に応じて放射能濃度を測定する、となっている。このことから、市民の不安を解消するため、事業者へ空間線量率の測定頻度を増やすなどモニタリングの強化と共に、数値上昇の原因究明と焼却灰の放射能濃度の低減対応を申し入れた。

問 焼却灰の放射能濃度が下がらない限り、この対応は継続し、原因究明しなければならないのではないか。

市民生活部長 焼却灰の放射能濃度を下げるには原因究明が重要であり、事業者には燃焼材の表面線量率の測定本数を増やすことなどを申し入れている。焼却灰の放射能濃度は低ければ低いほうが良いという認識は、事業者も市も一緒であり、放射能濃度が低減されるまで、引き続き取り組むことを申し入れていく。

東御市シティプロモーションについて

田中 博文（たなか ひろふみ） 議員

問 東御市シティプロモーション戦略は来年度最終年度を迎えるが、これまでの取組と成果について伺う。

企画振興部長 「ほどよく、田舎。とうみ」を地域ブランドメッセージとして掲げロゴマークを制定し、東御市出身の俳優である丸山智己さんをふるさとPR大使に任命し市の魅力発信を県内外へ向けて行い、さらに東御市公式ファンクラブを設立し、会員には市の魅力やお得な情報を発信し東御市ファンの獲得に努めるとともに、湯の丸高原高地トレーニング施設を活用したスポーツツーリズムの推進やメディアへの広報活動の強化などを通じて、地域イメージの向上に取り組んできた。

地域ブランドメッセージのロゴマーク

問 地域ブランド調査による本市の魅力度が低順位で推移とのことだが、具体的にどのように推移しているのか。

企画振興部長 東御市の魅力度は、２０２１年は９７４位、２０２２年は８１７位、２０２３年は７２６位と上昇傾向にあるものの下位で推移している状況であり、シティプロモーションの強化が必要と考えている。

問 オンラインを活用した「デジタルプレスリリース」により全国規模での配信を行うとのことだが、具体的な方法や効果について伺う。

企画振興部長 サイト内への情報掲載に加え、イベントの種類や内容によって、関連のあるメディアを最大３００社選択し、発信することで、今まで以上に効果的かつ効率的な情報発信や、拡散ができ、市の認知度向上につながる。

他、医療の２０２４年問題について質問した。

東部地区小学校給食センター化建設事業について

市毛 真弓（いちげ まゆみ） 議員

問 自校給食設備をセンター化する計画にあたり、子ども達や保護者、関係者の意見聴取はどう実施し、内容はどんなものだったか。

教育次長 基本構想策定時に意見聴取は行っていない。

問 なぜ行わなかったのか。

教育次長 センター化以外の選択肢はないと捉えている。北御牧給食センター建設時のような検討は行わずに、保護者等への説明をして理解をいただく。

問 建設・改修の予算について、比較検討はどうか。

教育次長 四つの施設より、一つの施設を建設する方が安価であると判断している。田中小学校以外は同一場所に建設する用地がなく、建設中に給食配食先を別に稼働する必要が生じることから、建設・改修の費用算定は行わない予定。

問 総合教育会議、教育委員会での調査・審議はいつ、どのように行ったか。

教育次長 令和４年２月、総合教育会議において、北御牧学校給食センターと滋野小学校の集約化を検討した経過がある。定例教育会議では本年度10月11月にセンター建設に至った経緯などを説明し、承認を得た。

問 定例教育会議の会議録によれば、報告しただけであり、協議も質疑応答もなく承認された記載はない。教育委員会制度の特性に住民による意思決定がある。しかし地域住民の意向は反映されていない。この事態をどう捉えているか。

教育次長 現在は給食センター基本設計を委託しているので、基本設計業務ができたところで、栄養教諭や調理員などの給食に関わる方のご意見をいただきながら進めてまいりたい。

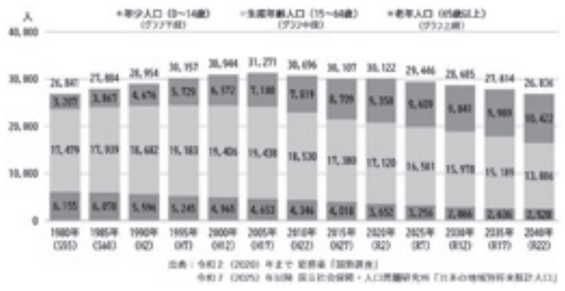
青少年読書感想文全国コンクール
2023年課題図書

人口減少、少子・高齢化対策の現状と課題、今後の対策について

髙木 真由美（たかぎ まゆみ） 議員

問 人口の年齢階級別の移動、老年・生産年齢・年少の年齢区分別の人口の推移等に見る市の課題は何か。

企画振興部長 10歳から20歳代の若者層の転出が多く、次世代の地域の担い手の人口流出、特に女性の人口減少が課題となっている。人口推移では、今後も年少及び生産年齢人口は減少を続け、老年人口は増加するとの推計であり、税収の低下、社会保障費の増加、公的サービスの低下が懸念される。



年少・生産年齢・老年人口の推移と将来推計

問 女性や若者のUIJターンの促進についてはどうか。

企画振興部長 民間事業者と連携をし、移住相談と合わせて就職支援も実施することで、働き世代のUIJターンの促進を図っている。

問 若者の出会いや結婚の希望を叶えるための取り組みはどうか。

企画振興部長 市では、上田地域定住自立圏での婚活イベントの開催や県と協働して行う移住と婚活を組み合わせたイベントなどを開催している。

問 今後さらに力を入れていくべきと考える子育て支援策は何か。

健康福祉部長 地域全体で子育て・子育ちを支え合う意識の醸成や、子育て家庭の多様なニーズに応える保育・教育の充実、経済的負担を軽減する支援サービスの確立が重要と考えている。

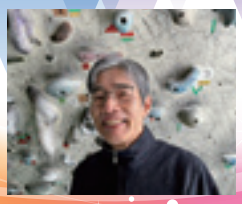
学校教育におけるDX化

問 一人一台のタブレット端末を使った相談事業の進捗状況はどうか。

教育次長 タブレット端末を利用しての悩み事や学校での困りごとを気軽に相談できる窓口を構築し、４月からの運用を予定している。

きらり★キラリ

海善寺在住
田中隆さん（65歳）



金原の岩場の開拓者

ご自宅にもボルダー施設がある田中さんに、岩場愛を語っていただきました。

生い立ちを教えてください

田中さん　実家は埼玉県です。高校時代から山岳部で、大学時代には社会人の山岳会に入っていました。最初製薬会社に入社し、3年間愛知県にいまして、その後長野県職員を経験し、東御市には2000年に来ました。

ボルダーに目覚めたのは？

田中さん　父親が登っていたので、家にロープだとかの道具があって、子どもの頃から父親に山に連れていってもらってました。

ご自宅に壁があるんですね。

　家を建てたかったというより、この壁を作りたくて。普段から練習してないと力が落ちてきてしまうんですよ。

金原の岩場の開拓について教えてください。

田中さん　ある新聞に岩の写真が載っていたんです。場所がわからなかったので探しました。行ってみると、50個くらい見つけました。小さな洞窟もありますよ。実は登れる岩場というのは少ないんです。普通は山の中の急斜面で危なくて登れないのに、ここは道路もすぐそばにあり下も平らです。またここは溶結凝灰岩（ようけつぎょうかいがん）という岩で、クライマーから見ると非常に貴重な場所で、これは絶対どうにかしなくちゃいけないと思いました。

将来的な展望は？

田中さん　これからガイドブックを発行して、駐車場も整備予定です。ボルダーは60万人くらいの競技人口がいるんですが、好きな人は一回きりという事はなく、攻略する為に何回も来ます。東御市で宿泊したり、ボルダーのついでに観光できたらいいなと思います。市民の方にも知ってもらいたいんです。利用しないともったいないですよ。

＊年齢をお聞きし、驚きました。健康でお若い秘訣を教えてもらったような気がします。

＼あとがき／

「議会だよりが、読みやすくなったよ」と意見をいただき、発刊に係わる議員みんな笑顔です。議会活動を身近なものとして、知っていただくことが大切と考え、編集しています。少ない文字数で必要な情報が多くの方に伝わるよう読みやすい紙面をと心がけています。今後も議会だよりを市民の皆さん全員に読んでいただけるよう努力を重ねていきます。　**花岡豊一**

議会の傍聴へお越しください

令和6年6月定例会における一般質問は6月19日・20日・21日に予定されています。

　本会議、全員協議会、常任委員会、特別委員会は傍聴することができます。

　定例会の日程は、確定後、東御市議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

※一般質問の日程は変更となる場合があります。

東御市議会ホームページ

広報委員

村山弘子　田中博文　滝澤栄一　西山福恵　斉藤哲　花岡豊一　大塚博文　田中信寿　中村眞一

市議会だよりについて、ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合せ】
東御市議会・事務局
〒389−0592 長野県東御市県281-2
TEL.0268-64-5810
FAX.0268-62-5040

R80 古紙パルプ配合率80％再生紙を使用
再生紙を使用しています。
植物油インキを使用しています。
VEGETABLE OIL INK

［東御市議会広報紙］　第81号　◆発行/東御市議会　◆発行責任者/東御市議会議長　中村　眞一
◆発行日/令和6年5月1日　◆編集/東御市議会広報調査特別委員会　印刷/有限会社大和印刷

この広報は議員の自主編集で発行しています。